

社会インフラの課題と解決策を多様な視点で 考える(自ら論じた建設論評から幾つか引用)

青木あすなろ建設(株)参与
工博・土木学会フェロー
日本コンクリート工学会フェロー
技術士(総合技術監理部門・建設部門)
筑波大学非常勤講師
東京電機大学客員教授



牛島 栄

目次

- ○社会インフラの老朽化と公共事業
- ユニバーサルな社会インフラをつくる
- ○人口減少がもたらす公共投資の効用
- 地方にコンパクトな高齢化対応都市を
- 共同溝化を推進し景観を保全して街を活性化する
- ○首都直下地震から人命と国の中枢を守る
- 老朽化共住の耐震化とスラム化防止
- 超高層マンション維持修繕期の到来
- ○人口減少に備えた国土政策の大転換
- ○高齢者の数に着目を
- ○悲観論ではなくイノベーションの視点

- ✓ 企業の強みを考える際には、経営学者ジェイ・バーニーが提唱する「VRIOフレームワーク」が参考になる。バーニーは、顧客にとって価値があり(Valuable)、希少であり(Rare)、模倣しにくく(Inimitable)、かつ組織的な取り組みがあること(Organization)が、持続可能な「固有の強み」の条件であると述べている。